

福島第一原子力発電所

3号機燃料取扱機マニピュレータ作動流体漏えいについて（続報）

< 参 考 資 料 >
2020年10月22日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 10月20日にお知らせした3号機燃料取扱機マニピュレータからの作動流体（水グリコール）漏えいについて、その後の状況をお知らせします。
- 10月19日午後10時20分頃、使用済燃料プール内において小ガレキ撤去治具を把持する際、マニピュレータ右手（SAM1）爪の開きが通常よりも小さいことを確認しました。
- 気中に引き上げSAM1の外観・動作確認した結果、爪の開閉時のみSAM1の水圧ホースの亀裂から作動流体（水グリコール）が漏えいしていることを確認しました。

[<2020年10月20日お知らせ済み>](#)

- ガレキ撤去作業は概ね終了しておりますが、小ガレキ撤去の一部が残っているため、今後、準備が整い次第、漏えい箇所の水圧ホースを予備品と交換する予定です。
- なお、当該マニピュレータはガレキ撤去作業に用いるものであり、燃料取り出し作業の工程には影響はなく、燃料取り出し作業は継続しています。2020年度末までの566体の取り出し完了に向けて、引き続き安全第一で、確実に作業を進めてまいります。

